

一斉画一的な授業からの脱却をめざした取り組み

前半の一斉授業後、プリントを配付

2年生の数学の授業では、前半の一斉形式の授業の後、全員にiプリントを配付します。先にiプリントを一枚、配付しておくことで、プリントが混み合いにくくなります。



授業後半では、生徒同士の学び合い

授業後半、まずはiプリントで授業内容の演習をします。班で「まなボード」等を活用し、生徒同士で教え合いながら学習していきます。先生は数学が苦手な生徒への支援も行き届きやすくなりました。



答え合わせ／次のプリントを印刷

iプリントが終わった班からタブレット上で解答を表示し、答え合わせをします。その後、定着・標準・発展の中から次のプリントを印刷し、それぞれスペースで学習を進めていきます。



3年数学／習熟度の班で学習

3年生の授業後半では、3段階の習熟度別に班を分けて学習します。Aグループは先生と、Bグループはiプリントを中心に、Cグループは入試問題などの難しい問題にチャレンジしています。



Aグループは先生と丁寧に内容を確認していきます。



Cのグループは関連する入試問題から難しい問題にチャレンジします。

英語：習熟度に応じた学習



英語の授業後半、演習のプリントが早く終わった生徒から、プリントを自分で印刷して答え合わせまで行います。理解の差が激しいクラスの中で、どんな学習したい生徒が主体的に学習を進めることができます。

自分で選ぶとやる気がアップ

授業の中で自分で印刷し、取り組むことで、生徒たちのやる気が高まっています。感じていきます。テスト前には、自習に使用したいという生徒もいて、休み時間や放課後にも生徒が積極的に活用しています。

学習がわかるようになり、不登校の生徒の自信に

不登校の生徒は、これまで授業の内容は友だちのノートを写して学習をしていましたが、『みんなの学習クラブ』が導入されてからは、自分のスペースで、以前に学習した苦手な単元までさかのぼって解説動画等を何回も見ながら、学習できるようになりました。これまでわからなかったところで、わかるようになっていくように、入れるようになりました。

担任の先生は音楽が専門ですが、単元項目が教科書に沿っている『みんなの学習クラブ』を活用すれば、専門ではない5教科の学習も一緒に取り組むことができるようになります。プリントをタブレットなどの画面に表示し、ノートで学習しています。

